

平良悠太君ありがとう

6月13日(木)朝、本校に隣接する西崎特別支援学校の校舎2階の窓に「チバリヨー！
沖水」と書かれた横断幕が、本校野球部グラウンド及び校舎に向かう形で掲げられていました。私がこのことを知ったのは、バッティング練習中に**また**、打球を同校敷地

内に入れてしまったことを、度重なる不手際を恐縮しながら私に報告してくれた大城一基先生の次の句「校長、西特に横断幕が掲げられていますよ」でした。

6月14日(金)1校時は野球部推戴式、校長挨拶では最初にこの話を切り出し「野球部の活動については、日頃の練習のみならず、地域の清掃活動や礼儀



作法など人として当たり前に行わなければならないことを地道に続けてきた成果であること。そしてそれは必ず見られている人がいて、皆さんの評価に繋がりそれは学校のよい校風になる」と話しました。



式後、お礼に同校を訪ねたところ、横断幕を作成したのは「生徒たち」ではなく「高等部3年平良悠太君」であることが判明し、わざわざ高良侑子教頭先生が本人を呼んでくださいました。私の「悠太君ありがとう」言葉に少しはにかみながらも「ありがとうありがとう」と何度も返答をしてくれ、誰の助けも借りずに一人で黙々と作成したこと、字のデザインが得意である事を美術の宮城先生の紹介とともに、彼の純粋な目の輝きとともにさわやかな感動を覚えました。

本校野球部は、今や県内の学校が「打倒！！」を目指して全力でぶつかってくるチームです。勝つことを期待されているチームですが、日常の生活習慣に裏打ちされた生徒らの行動がその期待をさらに増幅させているのです。

